

平成 24 年度北海道・アルバータ州高校生交換留学促進事業 留学生現地レポート

I found the difference!

Hokkaido / Alberta student exchange program **2012-2013**

平成 24 年 12 月 12 日発行
北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課

現地リポーター（留学参加者）

〈滞在期間 平成 24 年 11 月 10 日～平成 25 年 1 月 12 日〉

- 1 弟子屈高校 2 年 (Harry Ainlay High School)
 - ★ お菓子の家
 - ★ ツリーフェスティバル
- 2 小樽潮陵高校 2 年 (W.P.Wagner High School)
 - ★ リンゴ飴
 - ★ スラッシー
 - ★ コンフィーデー
- 3 札幌西高校 1 年 (Harry Ainlay High School)
 - ★ スーパーマーケット
- 4 石狩南高校 2 年 (Strathcona High School)
 - ★ バス
 - ★ レストラン
 - ★ 授業中
- 5 札幌国際情報高校 2 年 (Bert Church High School)
 - ★ スクールライフ
- 6 苫小牧東高校 1 年 (Strathcona High School)
 - ★ スクールライフ
- 7 静内高校 2 年 (Bishop Carol High School)
 - ★ ランチタイム



1 弟子屈高校 2年 (Harry Ainlay High School)

★ お菓子の家

カナダではクリスマスシーズンになると、家の子供たちでジンジャークッキーを使ってお菓子の家を作ります。デコレーションなどの種類も豊富でカラーバリエーション(笑)もすごいので多くの人に親しまれている行事です。

★ ツリーフェスティバル

エドモントンで開催されているクリスマスツリーの展覧会のことです。ツリーの本数は百を超え、毎年たくさんのファミリーやカップルが訪れています。

飾りや大きさが日本のそれよりも派手なので、会場内はとてもきれいで、迫力がありました。

カナダのクリスマスは日本と違い、期間が長いと思いました。祭りごとが好きなのも特徴ですね。



2 小樽潮陵高校 2年 (W.P. Wagner High School)

★ りんご飴

りんご飴という説明を受け、買ってもらった、りんごチョコ。
日本のお祭りなどでよくみかけるべっこう飴でコーティングされたりんご飴
ですが、カナダで食べたりんご飴は、りんごチョコである上に、その中には皮
ごとまるまるりんごが入っていました。

りんごは新鮮で美味しかったです。

★ スラッシー

セブンイレブンなどで簡単に購入できる、スラッシーですが、全体的に色が
薄いです。他にも色々な色の味があり、何味も同時に楽しめます。でも、極
寒の中飲むカナダ人の気が知れません。



★ コンフィーデー

コンフィーデーは、一日、
その日だけパジャマやスウ
ェット、スリッパなど自分
が最高潮にリラックス出
来る格好をしても良い日
です。みんな喜々として
パジャマなどをきていま
した。ちなみにコンフィ
ーな格好をするとその
日はカフェテリアで無
料でホットチョコレート
がもらえます。

3 札幌西高校 1年 (Harry Ainlay High School)

★ スーパーマーケット

カナダのスーパーマーケットではカゴをレジに乗せるのではなく、食べ物をベルトコンベアーにのせレジを通る。

カナダでは一度に買う量が多いから合理的で良いと思った。

それに次のひとと区別をつけるためのバーもあり、いい工夫だとおもう。



4 石狩南高校 2年 (Strathcona High School)

★ バス

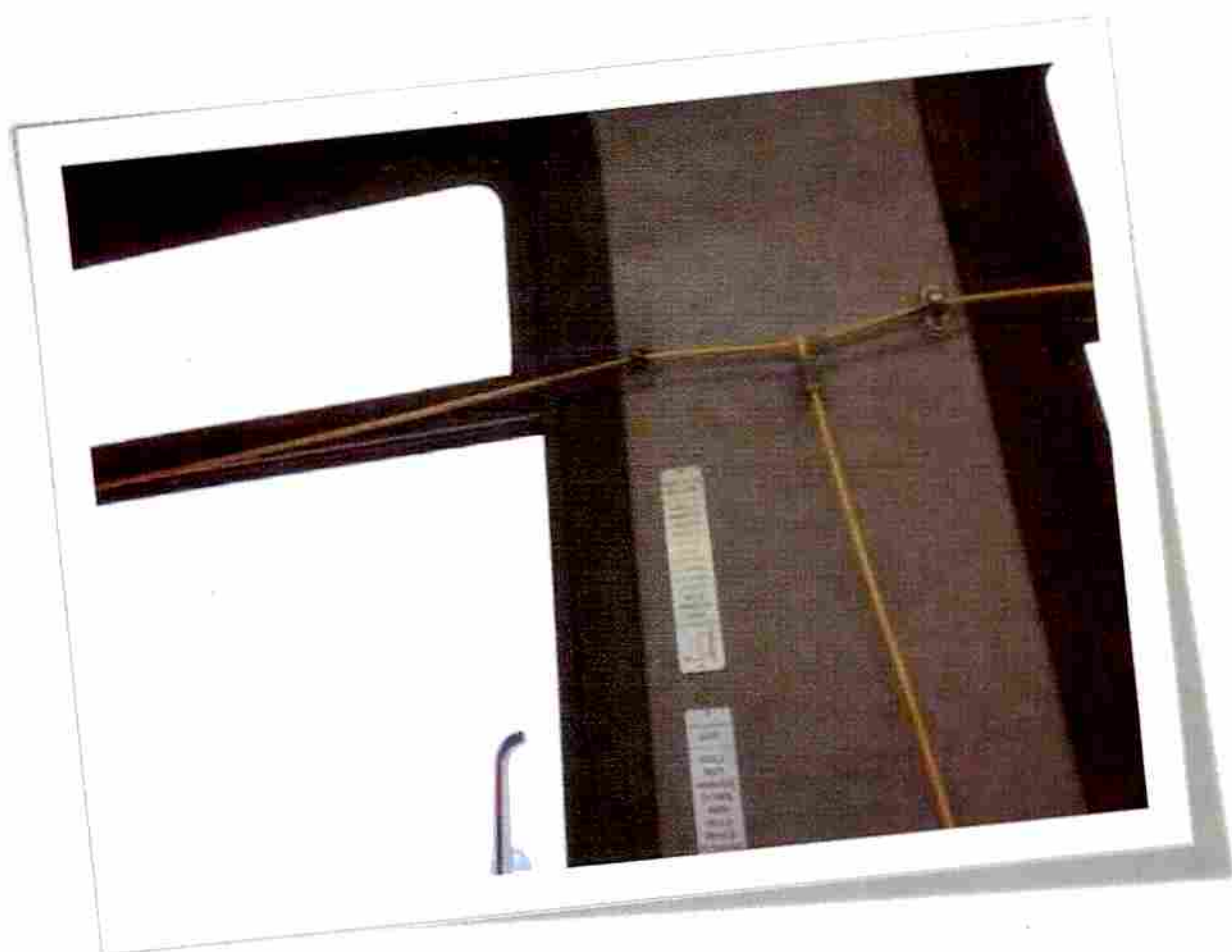
バスで降りる時に日本ではボタンを押すけどカナダのバスは黄色の紐みたいなものを引っ張っていた

★ レストラン

レストランなどに行った時に日本では食べ物を残してしまったら持ち帰ることはしないけどカナダではほとんどの人が残したものを持ち帰っていた

★ 授業中

日本では授業中に飲んだり食べたりしてはいけないけどカナダでは普通に飲んだり食べたりしていた



5 札幌国際情報高校 2年 (Bert Church High School)

★ カナダのスクールライフ!!!



まず、行き帰りは可愛いスクールバス! 家近くから学校までなのでとても楽です。

授業は私の行っているバートチャーチ高校とジョージマック高校では1日4時間、教科は選択できて毎日同じです。



コスメトロジーというクラスもありここではサロンで働くための練習のような授業をしたりします。高校なのに道具も揃っていて、自分や友達のセットをしたり、マネキンまであり、生徒は自由にそれを使うことができます。

クリミナルアートでは大量に本格的な料理を先生の指示に従ってレシピをみたり聞いたりしながらほぼ生徒が作ります。写真はブラウニーですが役割分担して沢山の種類を1日で作り毎日メニューが変わります。



6 苫小牧東高校 1年 (Strathcona High School)

★ スクールライフ

私の通っている学校は玄関を入ったすぐのところに校章があり、そこを避けて通るのがルールです。学校の雰囲気は日本よりも自由というか、生徒それぞれが个性的です。クラスによってはごはんを食べながら授業を受ける人も。学校にはパジャマデーというものがあり、その日1日の授業をパジャマで受けます。



必修科目もちろんあるのですが、その他にも沢山の科目があり、生徒は進路を考えて選択しているそうです。ダンスやコーラル、ミュージカル、グラフィックアートなどの芸術関係や、フランス語、スペイン語、ドイツ語など、日本の高校では珍しい教科も沢山あります。



生徒の出身地も様々で、東アジアや東南アジア、近東出身など、それぞれ違う文化を持った人達と話す事ができ、とても面白いです！そういう点はカナダならではの特征なのではないかと思います。ぜひまたカナダに来たいです！

7 静内高校 2年 (Bishop Carol High School)

★ ランチタイム

私が驚いたのは 学校での昼食時間のことです。



写真のように、ランチルームのような場所はあるのですが、私から見て全校生徒が座れる分の席があるとは思えません。座れない生徒はどこで食べるのかというと… もう一枚の写真からわかるように、なんと廊下です。

お昼になると、歩くのが困難になるほどたくさんの生徒が座っています。寝そべて食べている生徒がいたのには驚きました…。校内は土足なので、床に座るのは少し抵抗がありますが、ランチルームの席はすぐに埋まってしまうので私もよく廊下に座って食べています。日本の高校は自分の座席があるし、こっちでしか体験できないことだなあ…と思いました。

